

## 6年生のみなさんへ

みなさん、お元気ですか。先生は元気に過ごしています。

第6回目の今日は、社会と理科です。それでは、始めましょう^^

### 社会「復習プリント」

工業地帯や工業地域を5年生で学習しましたね。「太平洋ベルト」は重要な語句ですので、確実に覚えておきましょう。

今日は太平洋ベルトに含まれる京浜工業地帯についてお話します。「京浜」という名前は、東京の「京」と横浜（神奈川県）の「浜」から1文字ずつ取ってできあがっています。東京都と神奈川県にまたがる工業地帯であると分かりますね。

ところで、みなさんは浅野総一郎という人物を知っていますか？浅野氏は、「京浜工業地帯を創った男」と言われています。具体的にどのようなことをして、工業地帯を創ったのでしょうか。課題が早く終わったら、資料を集め、むずむずノートにまとめてみましょう。キーワードとなるのは、「セメント（地面を固めるコンクリートだと考えてください）」と「埋め立て」です。ちなみに、浅野氏は現在の富山県氷見市出身の偉人です。



浅野総一郎の銅像

### 理科「復習プリント」

みなさんの身の回りには、様々な「とける」があふれていますね。雪が「とける」、塩が水に「とける」、問題が「とける」。ここでは、塩が水に「溶（と）ける」について考えましょう。「溶ける」というのは、**ある物質が液体と混ざること、目では見えない小さな粒となって液体中に均一に広がること**をいいます。水に溶かす前の塩は白く見えますが、水に溶けると透明になり、目に見えません。

では、世の中の物質は、「溶ける」「溶けない」だけで分類できるものなのでしょうか。例えば、牛乳はどうでしょう。みなさんが給食で飲んでいる牛乳には、特に固体が溶け残っていることはありません。ですが、透明ではありません。牛乳は、物質が「溶けている」と言ってよいのでしょうか。むずむずノートに自主学习として調べてみましょう。



### 先生からのメッセージ

5月になると、今度は新緑の季節ですね。自然の移り変わりをゆっくりと楽しむよい機会かもしれませんね。写真は、昨年合掌造りを見に行ったときのものです。緑と合掌造りの組み合わせも美しいですね。

